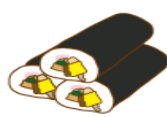


医療法人 水の木会 下関病院 広報誌 平成30年2月15日 発行

ステップ・アップ

No.42

下関病院訪問看護ステーションの開設/下関学術講演会/認知症カフェ『ららカフェ』プレオープン/
ふれあいフェスティバル&公開講演会/富任荘に「ふくし生活SOS相談所」設置！/行事報告/スタッフのわ



下関病院訪問看護ステーションの開設

平成30年3月1日、下関病院附属地域診療クリニックの訪問看護部門は、『下関病院訪問看護ステーション』として生まれ変わります。

基本理念は「利用者と利用者を取り巻くすべての人々が、地域で安心した生活ができるよう、利用者自身の力を活かし、その生き方を大切にしたい支援を行う」としました。メンバーは、現在の訪問スタッフの看護職員8名（うち准看護師1名）、作業療法士2名、心理士1名に、管理者1名（看護師）と事務員1名を加え13名、24時間対応体制のスタートとなります。

国の施策として医療及び福祉サービスは、在宅医療、地域生活中心へと方向づけられています。これまでクリニック訪問看護は、地域診療クリニックに通院している精神疾患の方にのみ提供できる精神科訪問看護として、地域の精神科医療の一端を担って参りました。この度、「訪問看護ステーション」となることで、医療保険に加え、介護保険による訪問看護も可能となること、他の精神科医療機関（病院、医院やクリニック等）に通院している方への精神科訪問看護、介護保険による訪問看護が可能となります。対象者は、精神疾患をもつ人、認知症の人及びそのご家族へと拡大します。

『下関病院訪問看護ステーション』は、精神看護が必要な人の社会資源として誰もが利用できるものになりますが、まずは現在200余名の利用者を、スムーズに「訪問看護ステーション」のサービスに移行することを目標としており、新規でのご利用には少し時間をいただくことになります。少しでも多くの受け入れができるように努めて参りたいと思います。

『下関病院訪問看護ステーション』となりましても、看護の質の向上に努め、利用者の持つ力を引き出し、地域で安心して生活できる活動をします。今後ともよろしくお願いいたします。

場所は、変わらず地域診療クリニック2階です。地域診療クリニックの正面玄関から突き当りの階段かエレベータで2階へお上がりください。廊下に出まして左手に進むと左側に「下関病院居宅介護支援事業所」「下関病院訪問看護ステーション」と書かれた扉があります。気軽にお立ち寄りくださいませ。いつでも笑顔でお待ちしています。

下関病院附属地域診療クリニック 地域支援部 部長 富田 宜與

下関学術講演会 発達障害と薬物療法

平成 29 年 11 月 28 日

西川医院 発達診療部・発達障害研究センター

診療部長・センター長 林 隆 先生

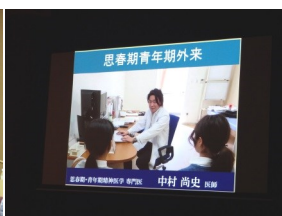
この度、貴重な講演をしてくださった林先生は、地域診療クリニックでも月1回（毎月第4火曜日PM）診療されています。

先生の発達障害の概念的理解は、従来の医学モデルで言うEBMではなく、これまでの臨床経験に基づく知見の集大成であり、端的な説明でありながらも視覚的イメージやユーモアを交え、わかりやすい内容でした。

また、脳神経分野におけるDefault mode networkの話では、安静時にも脳が機能していることを知るとともに、Task positive networkとの関連で自閉症スペクトラム（ASD）やADHDの子どもたちに何が起きているのか、考えさせられる契機となりました。

私たち心理士も、Working memory（知能検査）やAQ（ASDのスクリーニング検査）との関連を探り、診療の一助につなげていきたいと思います。

心理技術科 松田 拓也



認知症カフェ『ららカフェ』プレオープン

平成 29 年 11 月 25 日

平成29年11月25日（土）に、認知症カフェ「ららカフェ」がプレオープンし、54名の方にご参加いただきました。プレオープンでは、中山寛人医師より認知症に関するミニ講座を、その後、山田一雄作業療法士による健康体操を行いました。

参加された方は、先生の話に耳を傾け、体操に関しても積極的に参加され（時折笑い声に包まれ）、楽しい時間を過ごされていました。

ららカフェは、認知症の人やご家族、地域の方、専門職の方との出会いの場でもあります。皆様、ぜひ気軽にお立ち寄りください。

心理技術科 小川 咲子



4月より定期オープンします！

日時：毎月第2土曜日 14：00～16：00

場所：下関病院附属地域診療クリニック1階食堂

ふれあいフェスティバル & 公開講演会

平成 29 年 10 月 21 日

下関病院附属地域診療クリニックにて『第21回ふれあいフェスティバル』を開催しました。今年は就労支援事業所・クリニック職員による出店をはじめ「認知症・高齢者」に関連する相談・体験ブースを設置しました。また、多くのブースに足を運んでいただくことを目的にスタンプラリーや抽選会を行ない、老若男女問わず参加していただくことが出来ました。そして、下関総合支援学校運動部によるダンス披露など大盛況のうちに終えることが出来ました。

今回、ご協力いただきました皆様、実行委員の皆様はこの場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。



ふれあいフェスティバル実行委員長 喜多村 生輝



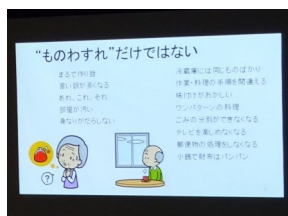
『絆という視点からみた認知症』（ふれあいフェスティバル内 公開講演会）



講演会には医療関係者だけでなく、認知症の家族や近隣住民の方、施設の職員や認知症支援に携わる方等が多く参加されました。地域の方を多くお迎えしての講演会ということもあり、医学的な側面というよりは、地域に暮らす一人としての認知症との向き合い方に重きを置いたお話を頂きました。認知症によって奪われるものは認知機能だけでなく、家族や友人知人等の既存の関係性にも及ぶこと、「認知症とともにある相手」と新たな関係を結びなおす必要があることをお話しされました。おそらく、認知症の人も周囲の人も、それを得るのは容易ではないと思います。怒り、戸惑い、傷つき、悲しみ、期待して、打ち砕かれて、そしてその果てに新たな絆を得ていくのだと思いました。その過程にある人と共に在る際、医療関係者としてのみならず、時には「支援する一支援される」関係を超えた一人としての態度も求められるように感じました。



心理技術科 小川 咲子



富任荘に『ふくし生活SOS相談所』設置！

『ふくし生活SOS相談所』は、悩みや問題を抱える住民の皆さんが、気軽に相談できる地域のよろず相談窓口です。

社会福祉法人水の木会は「下関市社会福祉法人 地域公益活動推進協議会」に加盟し、市内の他法人と相互に連携協力して、制度の狭間や既存の仕組みでは解決が難しい福祉ニーズ（困りごと）に対応する活動を行っています。

お電話（258-5451）されるか、特別養護老人ホーム富任荘に直接お越しく下さい。のぼりが目印です。



統括本部長 佐藤 正昭

行事報告 (クリスマス会・冬祭り・初詣)

クリスマス会



看護部長による開会の挨拶から始まり、病棟の出し物ではダンスや合唱が行われ大いに盛り上がりました。作業療法科の合唱は残念な結果に終わりましたが、皆様方の優しい応援が心に染みしました。毎年恒例のくじ引きでは引いた瞬間、喜びの笑顔とため息が混じり合い、最後の合唱では参加者全体が一つになりクリスマスを祝う良い企画となりました。

作業療法科 科長 田名橋 佳伸

平成29年12月21日



冬祭り



季節の行事として、冬祭り(餅つき)を開催致しました。杵を付き、お餅を丸め、参加して頂いた方々には、身をもって年の瀬を感じて頂けたのではないかと思います。また、お餅が食べられない方へは、白玉入りのぜんざいなどを用意し、「美味しかった」との声も多く聞かれました。今後も、皆で楽しむことの出来る行事を企画していきたいと思いますので、よろしくお願い致します。

作業療法科 岩崎 僚太

平成29年12月28日



初詣



住吉神社と中山神社の2社に男子回復期病棟、男子リハビリ病棟の2病棟合同で初詣に行かせていただきました。外は気温が低く、雪も降っていましたが、皆さんの表情は明るく、寒さを感じさせない様子でした。各神社でお参りをし、患者さん同士で今年の抱負を語りながら、今年も一生懸命頑張ると意気投合していました。2時間という短い時間でしたが、また実施していきたいと考えています。

作業療法科 田原 暁仁

平成30年1月12日



つなげよう！ スタッフの

わ

スタッフでつなげる、
趣味のはなし。

連載25回目の今回は、精神保健福祉士 三原 あゆみ さんです。

私の趣味は弓道です。高校、大学と弓道部に所属していました。弓を射る楽しさが忘れられず、昨年より一般の団体に所属しました。的に向かって弓を引く時間は、自分の心と体にじっくりと向き合うことができます。自分の強さも弱さも見えるので、常に自分との闘いです！老若男女問わず、いつからでも始める事ができますので、皆さんも是非いかがでしょうか？

次回は、男子回復期病棟 師長 松本 大輔 さんです。



編集後記

まだまだ寒い日が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

私は寒い日にはお鍋をしたり、温泉に行ったりして冬を満喫するようにしています。

今年も一年それぞれの季節を楽しみましょう。

広報委員 村上 宗

医療法人水の木会

下関病院 広報委員会

〒759-6613

山口県下関市富任町6丁目18番18号

☎ 083-258-0338 FAX 083-259-8876

<http://www.mizunoki.jp>

shimobyout@mizunoki.jp

水の木会

検索

